

そのべまちなか夏祭り



2024.09.08



そのべまちなかイベント実行委員会

○そのべまちなか夏祭り（実施団体：そのべまちなかイベント実行委員会）

犬石書店前の広場で9月8日（日）、そのべまちなか夏祭りが開催されました。屋台、ライブ、紙芝居、ビンゴ大会などが行われ、会場は多くの親子で賑わいました。



食べ物、飲み物、
ミニゲームも、
なんと全部50円…！
子どもたちもチケット
片手に元気いっぱい
遊びます 

お天気も良く、
とても暑かった会場。
冷たいかき氷が
大人気でした 





わなげ

ヨーヨー

スーパーボール

かたぬき

コーンホールなど

色んなミニゲームに

挑戦です🏆

かき氷の容器には
リユース食器が使われ、
エコな活動が実践されて
いました🌱



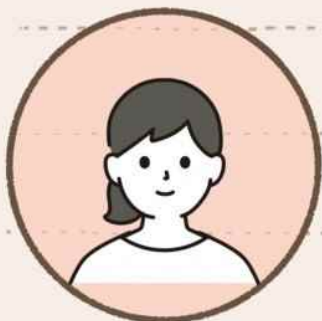


五美ひろえさんによるライブ！
 素敵な歌声とお馴染みの
 『とんと〜ん』の音が
 響きました♪
 後ろのパネルはなんと
 スタッフの手作りです…！

紙芝居師の小川よしのりさん
 による紙芝居。
 紙芝居を使ったクイズに
 オリジナルの物語まで、
 子どもたちも熱中でした！



参加者の方に感想を聞いてみました🎤



近場で子どもと気軽に参加できるイベントがなかなかないので、とても嬉しいです。



1つ1つのお値段がお手頃でとても助かりました。小さな子どもも楽しめるものがたくさんあり、子どもたちの楽しそうな様子が見れて良かったです。



慣れ親しんだ場所なので、子どもたちを安心して遊ばせることができました。こういったイベントが増えてほしいです。

\団体の方にお話を伺いました/

Q.今回のイベントへの想いを教えてください

まちなかのみんなでつくる

まちなかのイベントで

まちなかを元気にしよう！

をテーマに実施しました。

この夏祭りが子どもたちの楽しい思い出となり、

将来、今度は自分たちで何かしてみようと

思ってもらえる、そんなきっかけになれば嬉しいです。

また、このイベントを機に、地域のことや

地域の子どもに目を向け行動する人が

増えていけばいいなと思います。



秋の収穫祭



2024.09.22



水車の郷かんだん倶楽部

○秋の収穫祭（実施団体：水車の郷かんだん倶楽部）

美山町神谷区で9月22日（日）、秋の収穫祭が開催されました。

あいにくの雨となり、稲刈りは中止となりましたが、昔ながらの機械を使った精米体験やバーベキューが行われ、子どもから大人まで世代を超えて楽しむ様子が見られました。



神谷産の野菜を使った
BBQ！

新鮮な野菜は
子どもから大人まで、
おいしい～！と
大好評でした。

この日のご飯は
神谷でとれた新米が
ふるまわれました🍚
羽釜で炊いた
炊きたてのご飯を
みんなで分け合います。





昔ながらの方法で、
脱穀から精米までを体験🌾
機械の使い方を教わりながら、
早速挑戦です…！





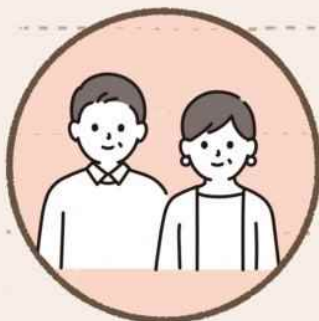
稲わらを使って、
しめ縄作り体験。
コツを教わりながら、
一つ一つ丁寧に
編んでいきます。

終始和やかな雰囲気で、
笑顔溢れる交流の時間と
なりました。

収穫祭の最後には、
「また来ます！」と
皆さん次を楽しみにして
帰られました。



参加者の方に感想を聞いてみました🎤



普段の生活では経験できないことができるのが何よりも魅力です。
ここで新しいつながりができるのも嬉しいです。



自然のなかで、子どもたちものびのびと遊べ、
なかなかできない体験が
たくさんできて喜んでいます。
また家族みんなで来たいと思います。



京都府のボランティア募集がきっかけで、
それ以来何度も神谷に来ています。
ここに来ると、地域の方が何かと気にかけてくれて、
このあたたかさがとても良いなと感じています。

\団体の方にお話を伺いました/

Q. 収穫祭を実施して、いかがでしたか

当日はあいにくの雨となり、

少人数での開催となりましたが、

ご家族での参加もあり嬉しかったです。

イベントを通じて、参加者の方には

単なるお客さんではなく、

「**神谷区民の一人**」と思ってもらえるくらいの

そんな関係性になれたら嬉しいと思っています。

2月には毎年多くの方にご来場いただいている

雪まつりを開催します。

これまでから来ていただいている方はもちろん、

神谷に来たことがない方にも

ぜひ1度来ていただきたいです。



子ども探偵



2024.10.20



一般社団法人子どもアドボカシーセンターKYOTO

○子ども探偵（実施団体：一般社団法人子どもアドボカシーセンターKYOTO）

旧川辺小学校で10月20日（日）、子ども探偵が開催されました。

子どもたちは探偵のお仕事として、自分が感じた色々な気持ちを伝えるミッションに取り組みました。最初は緊張した様子の子どもたちでしたが、子どもアドボケイトの支援のもと、のびのびと自由に自分の気持ちを伝えている様子が見られました。



まずは、子ども探偵を
お手伝いしてくれる

「子どもアドボケイト」
について学びます。

子どもアドボケイトは
子どものどんな気持ちも
大切にし、寄り添いながら
話を聴く人のことです。

子ども探偵を始める前に、
子どもたちは自分の意見や
気持ちを自由に言える権利
があることを学びました。





いよいよ子ども探偵の
 スタートです🔍
 たのしいこと、うれしいこと
 こわいことなど、お題が
 書かれたカードを使って
 自分の感じたことを
 自由に話し合います。

自分の感じた色々な
 気持ちを次は地図に
 マークしていきます📍
 南丹市やその周りの
 まちで気になるところ、
 大好きな場所、苦手な
 場所など、思い思いの
 場所を選びます。





気持ちを感じた場所を
現場カードに記入します📅
子どもアドボケイトの
サポートを受けながら、
子どもたちは一生懸命に
自分の気持ちを
書き込んでいました✍️

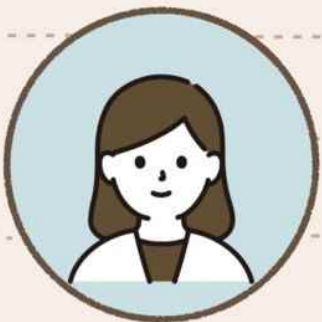
最後に自分の気持ちを
自由に書き込んだ
紙飛行機を作り、
お宝と交換です🎁🍪
様々なミッションに挑戦し
自分が感じた色々な気持ち
と向き合う貴重な時間と
なりました。



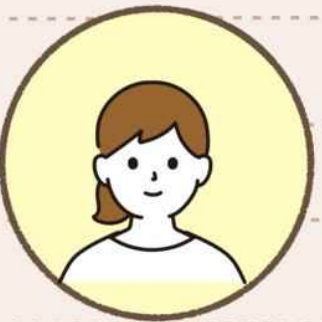
参加者の方に感想を聞いてみました🎤



最初は緊張したけど、みんなと話せて楽しかった！



子ども探偵の間、大人対象のコミュニケーショントークに参加し、子どもの権利やアドボカシーについて学びました。子どもの声をしっかりと聴いてくれるような大人が増えたらいいなと思います。



参加した後の子どもたちの表情がいきいきとしていて、参加して良かったと感じています。また、他の地域の子どもたちと触れ合う機会がなかなかないので、こういった場があるととても嬉しいです。

\団体の方にお話を伺いました/

Q. 子ども探偵を実施して、いかがでしたか

前回から引き続き参加してくれる子どもたちもいて、とても嬉しかったです。

自分の気持ちを自由に出すことに最初は戸惑う子どもたちもありますが、

自分の気持ちが大切にされていると感じると、
子どもたちの目がキラキラするんです。

何を言ってもいいんだという空気感を感じてもらえたらいいなと思っています。

もっとたくさんの子どもたちに届くよう、
この活動を広げていきたいです。

11月10日（日）には、第3回目の子ども探偵を実施します。家族やお友達を誘って気軽に参加してほしいです。



にほんごひろばkids



2024.10.31



くらるす

○にほんごひろばkids（実施団体：くらるす）

コミュニティプラザよしとみで10月31日（木）、にほんごひろばkidsが開催されました。

にほんごひろばkidsは外国にルーツのある子どもたちが日本語に親しめる場として、毎週木曜日に実施されています。子どもたちは、色んな教材を使いながら、一生懸命に日本語の勉強に取り組んでいました。



にほんごひろばkidsは
毎週木曜日17時45分～
コミュニティプラザ
よしとみ（JR吉富駅内）
で実施されています。

外国にルーツのある
子どもたちが集まり
みんなで楽しく日本語
を勉強しています✎



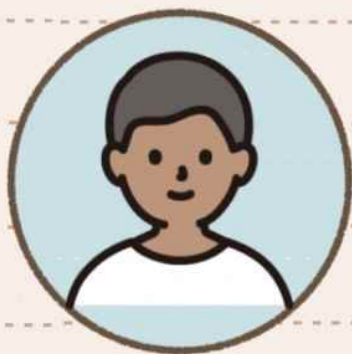


カードやプリントなど
色んな教材を使いながら
日本語を覚えます 🖋️
先生からもよくできました
と大きなはなまるが
もらえていました 🌸

先生が「これな～んだ？」
と問題を出すと、元気よく
答える子どもたち。
回数を重ねるごとに
どんどん日本語が上達
しているようです ✨



参加者の方に感想を聞いてみました🎤



家族みんなで参加しています。

子どもも毎週この時間を

楽しみにしています。

日本語の勉強ができてとても

嬉しいです。

参加するようになって、子どもも

日本語が上手になりました。

\団体の方にお話を伺いました/

Q. この事業を始めたきっかけを教えてください

にほんごひろばkidsは、

外国出身の保護者の方からの

「子どもが日本語の言葉を覚えたり、

ひらがなが上手く書けるように教えてほしい」

という声をきっかけに始めました。

子どもたちは回数を重ねるごとにどんどん日本語が
上手になっていて、成長を感じています。

幼稚園でも学校でもない場所で、

こうして交流し学べる場所があるのは、

子どもたちにとって、良い経験になるのでは
ないかと考えています。

この活動をより多くの子どもたちに

広げていきたいです。

関わりをデザインする



ペアレントトレーニング連続講座



2024.11.18



pono

○関わりをデザインする ペアレントトレーニング連続講座（実施団体：pono）

旧新庄小学校で11月18日（月）、ペアレントトレーニング講座が開催されました。
ペアレントトレーニングとは、子どもとのより良い関わり方を見つけることで、親子
そろって穏やかな日常が送れるよう、親をサポートするためのものです。日常の子ども
の様子を振り返り、子どもとの向き合い方を改めて見つめ直す時間となりました。



講座の講師を務めるのは
高見雅子さん。

子育てに悩んだ当事者として、自身の経験を活かし
ながら、フリースクールの
運営や、親への相談事業
など、幅広く活動されて
います。

第2回目のテーマは「好ま
しくない行動を減らす」
子どもがとる好ましい
行動、好ましくない行動
に、それぞれどのように
向き合っていくか、実際の
事例動画を見ながら学び
ます。





普段の子どもへの接し方を
振り返るワークに取り組み
ました。

一人一人、高見さんからの
アドバイスもあり、
子どもとの向き合い方を
改めて見つめ直す時間と
なりました。

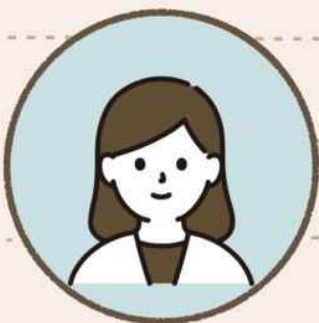
座学のあと、ロールプレイ
ングにも取り組みました。
遊びに夢中になっている
子どもをうまく歯磨きに
誘えるか、挑戦です。
子どもの気持ちを理解し、
受け止めることの大切さを
学びました。



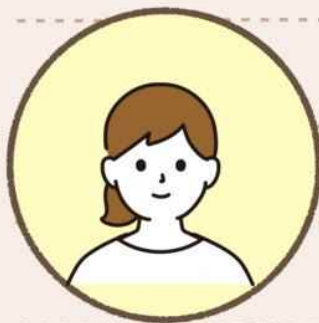
参加者の方に感想を聞いてみました🎤



子どもの様子をよく見ること、
子どもの気持ちになって、まずは共感する
ことの大切さを実感しました。



ワークやロールプレイングを通して、
自分の癖と向き合うことができました。
課題も見つかったので、意識しながら
子どもに接したいと思います。



講座を受講したことで、子どもに接する
ときの1つの基準のようなものができた
気がします。少し気持ちが楽になりました。

\ 講師の高見さんにお話を伺いました/

Q. 講座への想いを教えてください

子どもとの向き合い方がわからず、

子育てに困っている方は多いです。

少し行動を変えるだけで、子どもも変わります。

各回の講座で学んだことを実践してみる。

やってみてできたこと、できなかったことを

振り返り、試行錯誤を重ねて、実際に体感して

ほしいと思います。

また、気持ちの一方通行にならないように、

子どもがちゃんと納得できるよう、

1度子どもの気持ちになって考えること

の大切さを知っていただけたら嬉しいです。

\ 団体の方にお話を伺いました/

Q. この講座を始めたきっかけを教えてください

自分自身も子育てに悩み、

ペアレントトレーニング講座を受講しました。

子どもとの向き合い方を学ぶことで、

とても気持ちが楽になり、

子どもにも変化がありました。

そんな経験から、子育てに悩む多くの方に

子育てがもっと楽になるということを

知っていただきたい

という想いで始めました。

今年はありがたいことに定員に達しましたが、

次年度以降も実施を考えていますので、

ぜひ多くの方に参加いただきたいです。



神谷ふるさと雪まつり



2025.02.02



水車の郷かんだん倶楽部

○神谷ふるさと雪まつり（実施団体：水車の郷かんだん倶楽部）

美山町神谷区で2月2日（日）、神谷ふるさと雪まつりが開催されました。
今年は雪がないなかでの開催となりましたが、チェーンソーアートの実演、
木工教室、椎茸の菌打ち体験のほか、あたたかい食事も振る舞われ、和やかな
交流の時間となりました。



雪まつり恒例の
「チェーンソーアート」
今年は巳年にちなみ
しっぽが「み」の形をした
かわいいへビが完成
しました🐍🎀

木工教室では、ベンチ
づくりに挑戦です🔧
作り方を教わりながら
木を切り、組み立てます。
試行錯誤の末、
立派な木のベンチが
完成しました✨





子どもから大人まで
大人気だった
椎茸の菌打ち体験🍄
コツを教わりながら
木に穴を開けて
どんどん打ち込みます。

神谷産のお米を使った
おにぎりのほか、
そば、たこ焼きなどが
振る舞われました🍱-



雪がないなかでの開催となった雪まつり。

＼雪がなくても楽しめるよう、こんな遊びも企画されました！／



カラフルなティラノ
サウルスに変身した
子どもたちによる
運動会 🦖-

誰が1番にゴールできるか
競走です 🐾🐾

こちらも接戦が繰り広げ
られた「モルック」

数字が書かれた木のピンを
目がけて、木の棒を投げ、
50点ぴったりを先に獲得
したチームが勝利です 🪵



参加者の方に感想を聞いてみました🎤



昨年9月の収穫祭に引き続き、参加しました。
雪まつりには5～6年ほど前から参加しています。
ここでの繋がりが少しずつ広がっていて、
嬉しいなと感じています。



昨年移住し、雪まつりには初めて参加しました。
地元の方にはとても優しくしてもらっています。
こうしたイベントを通して、色んな関わりが
できていくのが嬉しいです。



家族全員で初めて美山に来ました。
子どもたちも色んな体験ができて、
とても楽しんでくれたので良かったです。
雪があるときに、またみんなで遊びに来たいです。

\団体の方にお話を伺いました/

Q. 雪まつりを始めたきっかけを教えてください

神谷では、以前は一夜で1メートルを超える雪が降ることもあり、除雪作業が困難な状況でした。

そんな大変な雪を逆手に取り、
みんなで楽しもうと始めたのが雪まつりです。

回を重ねるごとに少しずつ参加者の輪が広がり、
嬉しいと感じています。

今年は初めて雪がないなかでの開催となり、
参加者も例年より少なく心配でしたが、
親子で楽しんでいただけて良かったです。

今後も様々なイベントを開催予定です。

ぜひ1度お越しいただければと思います。